

**平成 31 年度 前学期**  
**文部科学省 職業実践力育成プログラム(BP) 認定**  
**「保育・子育て支援ラーニングプログラム」 シラバス**  
**(お茶大 ECCELL 社会人プログラム)**

**【前学期】**

基礎科目 自由選択：子ども学ゼミⅥ (1 単位)

発展的科目 自由選択：比較子ども社会学特論 (2 単位)

シラバスに関する問い合わせ先 ECCELL 事務局 nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp

**子ども学ゼミⅥ (科目コード 19O0171) 1 単位**

**集中講義 5 月 11 日(土)、6 月 1 日(土)、6 月 29 日(土)、7 月 27 日(土) 9:30-12:40**

**担当：浜口順子・内海緒香 (お茶の水女子大学)**

**主題と目標**

子どもの育ち・環境や乳幼児保育・教育等に関して、各自の問題意識や探究テーマを持ち寄り共有しながら、多様な参加者(受講者)が協働して学びの「場づくり」をすることを目指す。導入方法の一つとして、サイコドラマ(心理劇)の技法の基礎を学び体験する。双方向的に個々の考えを尊重し共有しながらアンラーン(学びほぐし)する場を形成するというものである

**受講条件・その注意**

特になし。

**授業の形態**

■演習 ■実習・実技

**教科書・参考図書**

各回の授業の主題に沿った資料を準備する。

**評価方法・評価割合**

■小論文(レポート)(割合:20%) ■授業への参加態度(割合:70%) ■発表(割合:10%)

**授業日程・授業計画**

第 1 回	第 1 回(5 月 19 日)特別講師によるサイコドラマ(心理劇)の技法を学び、保育的テーマに関して、体験的相互的に学ぶ。
第 2 回	第 2 回(6 月 1 日)第 1 回の続き。
第 3 回	第 3 回(6 月 29 日)写真や保育記録等を使ってミニプレゼンを行い、相互の子ども観、保育観について話し合う。
第 4 回	第 4 回(7 月 27 日)3 回の授業の総括を行うために共通の資料を読み合い、ディスカッションを行う。

**時間外学習**

各自の問題意識を共有する資料として写真や記録等の準備を行う。また授業後のリフレクションメモを作成する。

**学生へのメッセージ**

心理劇や体を動かす活動があるので、動きやすい服装でいらしてください。2017 年度の ECCELL 子ども学ゼミⅢを受講したことのある方も、授業内容は異なりますので、どうぞ受講してください。

**比較子ども社会学特論（科目コード未 19J2408） 2 単位**

木曜日 18:20~19:50

担当：小玉亮子（お茶の水女子大学）

**主題と目標**

現代において子どもと教育に関して、多くの課題があることは日々マス・メディアを通じて繰り返し語られている。子どもがあぶない、学校が問題だ、家族は何をしているのだと問題が論じられる。そのような中、目の前で生じる事件に振りまわされることなく冷静に問題を理解するためには、「事態を大きな文脈の中で見ることを可能にする広範な知識を常識的に流通する固定観念に縛られない自由な発想法を必要とする」との立場にたって、事態を俯瞰するための広い視野を身に着けることを目標としている。

**受講条件・その注意**

科目等履修生の方が受講希望される場合は、下記のメールアドレスまで事前にご相談ください。  
(nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp)

**授業の形態**

■演習

**教科書・参考図書**

テキストの使い方については、初回に説明するので、必ず初回に出席すること。

OECD. (2017). Starting Strong V: Transitions from early childhood education and care to primary education, OECD Publishing, Paris.

**評価方法・評価割合**

■発表=50% ■授業への参加態度=50%

**授業日程・教室**

木曜 18:20~19:50 本館 123 室

**授業計画**

初回は、進め方のガイダンスを行う。

二回め以降には、テキストを一章ごとに分担し、個人発表を行う。

発表者は、テキストの内容に対して、単純な疑問的から発展的な問いまで、問いを提示すること。また、それらの問いに対する調査を事前に行い、発表を行うこと。

参加者は、各自、テキストを元に、自分の問いを用意して、授業内での議論に望むこと。特に、参加者の中から事前にディスカッサントを決めておくので、ディスカッサントになった人は授業での議論のファシリテートをすること。

**時間外学習**

テキストの指示された部分については、あらかじめ読んでおくこと。

**学生へのメッセージ**

テキストを熟読するだけでなく、テキストを手掛かりにするという読み方を身につけるようにしたいと思います。みなさんと一緒に、アクティブにテキストを読んでいきたいと思います。また、お茶大 Plone を使用するので、使えるようにしておいてください。

科目等履修生の方には、分担を短くするとか、聴講的な参加にするとかご配慮いたします。